

新庄市議会 行政視察報告書

会派又は議員名 市民・公明クラブ

【全体的事項】

1. 視察日程 令和4年11月4日（金）～6日（日）
2. 調査事項（視察先）
 - (1) みどりの食料システム戦略の実現に向けて（東京都千代田区）
 - (2) 巢鴨地蔵通り商店街アンテナショップガモール（東京都豊島区）
 - (3) 新庄まつり in 巢鴨（東京都豊島区）
3. 視察参加議員
佐藤文一 山科正仁 高橋富美子 佐藤卓也 小野周一

【具体的事項】

調査事項（1）

みどりの食料システム戦略の実現に向けて
（東京都千代田区衆議院第一会館第6会議室）

（視察事項）

- ・みどりの食料システム戦略について
- ・みどりの食料システム法について
- ・認定制度等について

■視察日時 令和4年11月4日（金）
午後 2時00分 ～ 午後 4時00分

■所 感

「みどりの食料システム戦略の実現に向けて」として加藤鮎子代議士事務所を通じて清水浩太郎 農水省大臣官房政策課長から講義をしていただきました。

国においても、地球温暖化による気候変動や大規模自然災害の増加によって農業分野の被害が拡大していると捉えています。そして農業水産分野の温室効果ガス（GHG）の排出問題や食料生産を支える肥料原料の自給率問題、さらにはウクライナ問題など様々な課題を抱えています。近年では、食料システムをめぐる持続性やサプライチェーンの脱炭素化に向けた取り組みや交渉が加速し、国際的な機運の高まりを受け、みどりの食料システム戦略に基づく取り組みを推進していくことを

世界に発信しました。

この具体的な取り組みとして、1, 調達「資材・エネルギー調達における脱輸入・脱炭素化・環境負荷軽減の推進」2, 生産「イノベーション等による持続的生産体制の構築」3, 加工・生産「ムリ・ムダのない持続可能な加工・流通システムの確立」4, 消費「環境にやさしい持続可能な消費の拡大や食育の推進」を掲げ、生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現しようとしております。

みどりの食料システム法での施策として「環境負荷軽減に資する調達・生産・流通・消費の促進」や「環境負荷軽減の取り組みの見える化」があり、支援措置として必要な設備等への資金繰りの支援や行政手続きのワンストップ化、有機農業の栽培管理に関する地域の取り決めの促進などがあります。

様々な認定制度や支援措置、みどり投資促進税制（特別償却）等、新庄市にあった政策を積極的に取り入れ、農業振興を推進していかなければならないと感じました。

調査事項（2）

巣鴨地蔵通り商店街アンテナショップガモール（東京都豊島区）

（視察事項）

物品販売の状況について

■視察日時 令和4年11月5日（土）
午前11時30分 ～ 午後 0時30分

■所 感

巣鴨地蔵通り商店街アンテナショップガモールで新庄市の物品がどのように販売されているのか視察を行いました。新庄まつりが巣鴨地蔵通り商店街で開催されることもあり、売り切れになっている物品も多くありました。ただ全体的に品数が少ないような感じがあり、市全体で商品開発に取り組む必要性や巣鴨を中心に新庄市を知ってもらえるような取り組みをしなければならぬと感じました。

調査事項（3）

新庄まつり in 巢鴨（東京都豊島区）

（視察事項）

- ・ オープニングセレモニー（まつり山車行列出発式）
- ・ 山車運行（隊列参加）

■視察日時 令和4年11月5日（土）
午後 2時00分 ～ 午後 7時00分
令和4年11月6日（日）
午前11時00分 ～ 午後 0時00分

■所 感

平成29年の山車派遣事業から5年ぶりに新庄まつりの山車2台が東京都豊島区にある巢鴨地蔵通り商店街や大正大学周辺を運行し、新庄市を全国にアピールして参りました。今回の派遣事業では、新庄まつり三団体の中核である神輿渡御行列が参加することで新庄まつりの「本まつり」が再現されておりました。

5年前は台風の影響により大雨が降り大変な思いをしましたが、今回5日6日二日間とも晴天に恵まれました。夕暮れには山車にライトが照らされると宵祭りの気分が感じられ、スマートフォンを片手に写真や動画を撮っている方も多く、囃子の音を聴いた方の中には涙を流している方もおり、「来てくれてありがとう」といった声も多く聞こえてきました。

大正大学のキャンパス内では、新庄市の特産品販売、新庄産そば粉「最上早生」を使用した手打ちそばや新庄焼きそばを販売するブースには多くの方が並んでおり、特に秋の味覚である「芋煮」を無料配布するブースでは100メートルを超える行列ができており、食べて美味しいイベントになったと感じました。

実行委員や見物客の方より多くの声を聞かせていただき、実行委員の皆様や協賛していただいた大正大学の関係者の皆様、一般社団法人コンソーシアムすがも花街道の皆様に改めて感謝申し上げます。これを契機に令和7年に行われる新庄藩開府400年に向けてもしっかりと取り組み、交流人口や関係人口を更に増やし、人口減少対策の一助となるよう努めていきたいと考えます。